

明保地区 三の沢北自治会

「自治会ニュースの発行と積極的な資源物回収」

●加入世帯数：347世帯

●加入率：74.1%

活動内容

三の沢北自治会は昭和46年の都市計画法改訂（線引きによる市街化区域）の影響で私たちの住む地域は急速に宅地化が進んだ。当時そこに住む人たちの平均年齢は若い層が多く、その結果、核家族化が進み現在では高齢者だけの住居が大半で子どもたちの数も当然減少した。しかし、ここ数年、空き地に住宅が建ち始め、若い人たちが転入するなど子どもたちも少しずつではあるが増えて現在では36名（28年8月現在の明保小学生）となった。世帯規模は7組37班347世帯のコミュニティである。そして私たちが住んでいる地域の発展・向上を目指して、三の沢北自治会の諸活動を積極的に行っている。特に、自治会の最重要課題として、①ごみの減量化、資源化（資源物の回収）、②情報の提供、共有化（自治会ニュースの発行など）、③健全な会計処理（月次処理）、④尚齒会（老人会）、子ども会、北ボランティアの諸活動の結果、地域内のコミュニケーションが良くなり大幅に自治会内が活性化された。

加入率を維持する秘訣

時々、未加入者に対して「私たちの自治会に加入しませんか！」の書状と自治会ニュース（イベント毎に発行）を一緒に同封してお誘いをしている。一戸建て住人は殆ど加入しているが、問題はアパート住まいの単身者である。これらを根気よく勧誘を続けていきたい。



明保地区の防災訓練

平成28年度、明保地区の防災訓練が9月24日（土）午前9時より明保小学校体育館と校庭で行われ、防災会のメンバーや各種団体、自治会等から280名を越す皆様方に参加していただき、西消防署城山分署、姿川消防団のご指導のもと応急救護訓練、初期消火訓練、119番電話連絡訓練、資機材取扱訓練、砂囊づくりと積土義訓、及び体験（煙体験、起震車体験、放水体験）並びに姿川消防団による見事な「検法訓練」の見学を行いました。なお開会式の前には班毎による「情報連絡訓練から避難誘導訓練→本部長への報告」、「土砂災害避難誘導訓練→本部長への報告」、「要援護者避難誘導訓練→本部長への報告」等も行いました。今回の当自治会関係からの参加者は班関係から20名、各種団体所属から14名、子供会から20名の計54名の皆様方に参加していただきました。備えあれば憂えなし！本当にお疲れさまでした。



・開会式、島田本部長の挨拶
・開会式、西消防署城山分署・姿川消防団の挨拶